

疫病退散！守口市立図書館1周年記念

4月3日～24日、守

口市立図書館開館一周
年記念事業「田島征彦
展」が開催された。1階
交流スペースには、田
島さんの世界絵本原画
展金牌受賞作「祇園祭」
が14mの型染大作品と
なって、吹き抜けの天
空に舞つた。



吹き抜けに展示された作品

りな取材を重ね伝えて
きた田島氏。展との並
行事業の「子ども読書
活動推進事業」にふさ
わしい内容であった。

瀬戸SOLAN小学校

図書館アドバイザー・向井ひろ子さんは、「国語の授業で、子どもたちに田島先生の『てっぽうをもつたキジムナー』を読み聞かせします。子どもたちは命の大切さや友達の大切さを学び、『じごくのそうべえ』では、楽しい言葉のリズムに、いつも簡単に笑いだします」と、田島作品の魅力を語る。なお、祇園祭の起源は疫病退散祈願の「祇園御靈会」だと言わ

りでいる。「地元の図書館にふらりと寄つてほしい」と、展の企画をした生涯学習部門サブチーフ・賀門利誓さん。公立図書館がなかつた守口市に初めて、図書館法に基づく図書館ができるまで、田島氏の世界は、コロナ禍の中でも確実な歩みを続ける守口図書館の存在意義を



賀門さん(左)と原画をはさんで立つ
田島さん